

奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

平成25年7月 第5号



提 言 『 地域の自立による地域づくりを目指して 』



奈良県産業・雇用振興部長
中 幸司 氏

社団法人奈良経済産業協会の皆様には日頃より県の産業・雇用行政の推進にご理解とご協力を頂いておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

本年4月より県の産業・雇用振興行政に携わる一員となりました。前任に引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、平成25年5月の政府月例経済報告では、わが国の景気の先行きについて、次第に回復へ向かうと期待されておりますが、海外景気の下振れがリスクとなっており、また、雇用・所得環境の先行き等も注視していく必要があるとされています。奈良県経済におきましても、景気回復への期待感は大きくなってはおりますが、依然として厳しい状況が続いております。

本県は、県内に企業が少なく、消費が県外に流出するという構造的な問題があるため、この状況を打開すべく、県内の投資、雇用、消費を活性化し、本県経済の自立的性格を強めていく必要があると考えております。

奈良県では、目指すべき目標を「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」とし、その実現のため、本県の現状について指標を用いて分析し、課題を明らかにしながら、遅れている分野については、その遅れを取り戻すよう重点的に取り組んでおります。

まず新産業の創出では、少子高齢社会の到来を踏まえ「リビングサイエンス」をキーワードに「くらし」に関連する新たな産業の創出と集積を目指すとともに、漢方関連産業を本県の新たな中心事業とする研究（漢方プロジェクト）などに取り組みます。

また企業誘致では、情報通信業を誘致するための補助制度を創設するなど、戦略的な企業誘致活動を引き続き展開するとともに、京奈和自動車道をはじ

めとする幹線道路や、「大和まほろばスマートインターチェンジ」等のインフラ整備を進め、企業が立地しやすい環境づくりに努めてまいります。

さらに雇用については、奈良県と奈良労働局で「奈良県雇用対策協定」を締結し、しごとiセンターにおいて、奈良県と奈良労働局とが一体的に雇用対策を推進することとし、若者と県内企業のマッチング強化、地域就職支援センターの機能強化等を図ってまいります。

とりわけ新産業創出、また雇用対策に関しましては、知事直轄の「漢方のメッカ推進プロジェクト」「雇用振興プロジェクト」を作るとともに、部局横断的にプロジェクトを統括する知事公室審議官を設置いたしました。

また、本年2月には有識者や経済関係者で構成する「奈良県経済産業雇用振興会議」を立ち上げ、奈良県域の経済、産業、雇用に関する実態の把握と情報交換・共有を図り、地域が自立できる産業・雇用振興政策を議論、検討していくことといたしました。

また、4月からは、従来の奈良県工業技術センターや創業・経営支援室等を再編し、奈良県産業振興総合センターを設置し、モノづくりからサービス業まで、また商品企画から販売までをワンストップで一体的に支援できる体制を整えました。

これらの取り組みにより、地域産業を活性化させ、新たな産業を創出することで、新たな雇用の確保につなげるべく、県が率先して活動し、県勢発展の原動力となるよう努めてまいります。

本県が目指す「地域の経済的自立」を実現するためには、地域の経済団体として約500社の会員を擁し、地域の知恵・技術の取りまとめ役としての貴会の役割に大いにご期待申し上げるところです。

今後も奈良県経済の発展に向けた重要なパートナーとして県政へのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第24回 改善事例発表会

モノづくり委員会主催 (H25. 5. 16)

恒例の改善事例発表会を開催致しました。

この「改善事例発表会」では、QCサークル活動を中心とした小集団活動に止まらず、現場力の向上に向けた業務改善、職場改善等の幅広い取り組みの中から、特に成果のあげられておられる事例の発表を通して、共に改善活動の大切さを考える場として毎年開催しており、今年で24回を迎えました。



第1部の事例発表では、会員企業4社から、改善事例のご発表を頂きました。アドバイザーには、毎年ご指導頂いているQCサークル近畿支部 大阪・近畿南地区アドバイザーの北野邦弘様にお願いして、事例発表のご講評を頂きました。

第2部の特別講演には、八千代工業㈱ 鈴鹿工場 工場長 夏目英世様から、八千代工業㈱様の改善の取組についてご講話を頂きました。

【第1部：事例発表】発表順に概要を紹介します。

1. GMB㈱ ケース組立部

テーマ：『自動機のチョコ停改善取組み』

(概要)

生産性を著しく阻害する「チョコ停」について、これの減少に取り組んで効果を上げた事例。

自動機ケースへの供給において起こるチョコ停について、パレート分析によって、最も停止回数が多い「ケース流動不具合」を重点指向で、現場・現物で、現実の悪さを確認しながら取り組み、改善により稼働率を16%向上させて大きな効果を上げた。



GMB㈱
中垣 明 氏

2. ㈱ジェイテクト奈良工場 宅配隊サークル テーマ：『物流台車の改善』

(概要)

構内物流台車の走行時にヒヤリ・ハットとする気遣い作業の改善に取り組んだ事例。

コーナーでの内輪差の克服に底面真ん中にもう一つ車輪をつけると共に、路面の凹凸による台車が振られる現象を車輪が上下する機構を取り入れる等、対策に行き詰まってもあきらめずに、ヒヤリ・ハットとする気遣い作業のゼロ化を達成して大きな効果を上げた。



㈱ジェイテクト
武田隆明 氏と松田昭二 氏

3. ニッタ㈱奈良工場 Try&Error サークル

テーマ：『コーター作業における残りゴム糊廃棄量の低減』

(概要)

ゴム糊の制約条件と廃棄までの流れについて、データ収集と解析をきめ細かく実施して廃棄量の改善に取り組んだ事例。

はっきりした原因を施策実行型で課を上げて取組み、加工条件の調整や加工数に対応した実必要量の細かい設定を行い、月間廃棄量は目標の2倍以上の削減と共に、材料費や廃棄処理費用の削減を達成し大きな効果を上げた。



ニッタ㈱
藤原英雄 氏

4. ハウス食品㈱奈良工場 SSチーム

テーマ：『コミュニケーションで挽き出した辛い作業撲滅大作戦』

(概要)

洗浄作業の準備や原材料の開封作業等で、危険であったり、体力的にキツイ作業について、コミュニケーションを高め改善した事例。

改善のマンネリ化を打破するため、複数のチームからなる新チームを編成して、新しい視点で取り組むと共に、作業者の声を拾い上げて改善を実施して、作業時間短縮、負担作業の削減や省人化を達成するなど大きな効果を上げた。



ハウス食品㈱
吉村貴至 氏

【第2部：特別講演】

八千代工業㈱様は自動車の機能部品（燃料タンク、サンルーフ）等の開発・製造及び本田技研工業㈱様の軽自動車の受託生産を行っておられます。

八千代工業独自の改善活動を通して、品質・生産効率の向上に積極的に取り組まれています。

講演の概要は次の通りです。

講師：八千代工業㈱

鈴鹿工場工場長 夏目英世 氏

演題：『八千代工業㈱の改善の取組』

(要旨)

同社では独自の YBQ (Yachiyo Best Quality) 活動と TPM (Total productive Maintenance) 活動を 2 本柱にして、改善活動を展開されている。

1 つ目の柱の YBQ 活動は、これまで積み上げた対策やノウハウを深化させ、過去の失敗を糧に、現場で起こる様々な変化を管理し、管理者と作業者のそれぞれの役割を明確にして取り組んでいる。

特に「作業標準の遵守・徹底」に取り組み、基本ルールを冊子にして全員に持たせて、考え方を共有化し、品質の安定を図っている。

作業標準の運用も厳密に管理して、作業標準は管理者自らが作成して工程に落とし込むと共に、作業者に実際に 5 回以上にやらせて理解度を確かめ、その記録を管理するなど徹底させている。

不良・不適合を識別するため「赤箱・赤台車」を用いて、すぐ活用できるように作業者の横に置いて、入れる都度にマーキング等で識別できるようにして、異常内容を記録している。

そして当日中に、廃棄や手直し等の処理を決めて、前工程や関連部署に連絡するなど、完結させている。



八千代工業㈱
鈴鹿工場長
夏目英世 氏



不良・異常が出ると、すぐに生産ラインを止めて管理者を呼び、指示を待つことが大切で、管理者・作業員共に、常に工程の変化・異常を意識することが求められる。

不明・不要なモノが現場にないように、他工場・部署のチームによる、定期的パトロールで監視している。見つかった不具合は、ビフォーアフターシートで管理して最後まで確認している。

2 つ目の柱は TPM 活動として、生産システムの効率化、ロスのゼロ化等、不具合を未然に防止する付加価値の高いラインづくりを目指している。

現場の「あるべき姿」を定め、5 S や、自主保全・設備改善などのステップを設けて運用している。

特にロスの徹底排除のため、品質が変わる変化点となるチョコ停の防止に向けて、自主保全に積極的に取り組んでいる。

自主保全の基本となる清掃は、発生源対策に取り組んで、点検表や標準化へつなげている。“清掃は点検なり”で、清掃で気づいた点を不具合カードにまとめ、一覧にして記録・対策を実施している。

保全は PDCA でなく、CAPD から設備点検で出た不具合を対策し改善していくことが大事。

TPM 活動も YBQ 活動と連動した管理の仕組みを活用して、基本的な考え方を冊子にして常に携帯させると共に、他部署によるクロスチェックや、ビフォーアフターシートによる改善管理などを徹底している。

この YBQ 活動と TPM 活動を車の両輪として、原点に戻って現場現物で、改善に取り組んでおり、今後も一層の進化・充実に取り組んでいきたい。

日頃から問題意識を持ち、たゆまぬ努力の積み重ねが、大きな成果に繋がっている事例を拝見して、あらためて改善活動の重要性を認識しました。

当会も引き続き会員各社の改善の取組や、「現場力」の向上を幅広く多面的に支援して参ります。



経営者懇話会

人材育成委員会主催 (H25. 5. 17)



山岡金属工業(株)
代表取締役
山岡俊夫 氏

経営者懇話会最終回は、大阪府守口市にあります山岡金属工業(株)を訪問致しました。

同社は、昭和31年創業の業務・家庭用調理機器、無煙ロースター等を製造されています。

本社・工場をミュージアム化し、『夢工房』名付け、お客様や地域社会と共存し、発展する

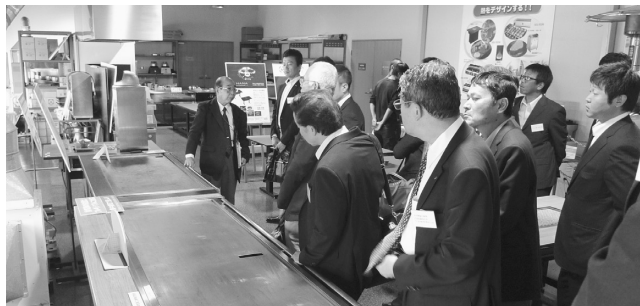
開かれた企業を目指して一般に公開されています。

山岡社長様からは、「先代の時代はプレス加工の下請けが中心だったが、家庭用のたこ焼器の開発をきっかけに家庭用コンロ、業務用厨房機器を開発し、現在は関西で高いシェアを占めている。中小企業の方々も脱下請けを目標としておられるが、発注先からの厳しい要求に応えようと努力することで、企業の技術力がレベルアップできる。当社は自社商品を多数持っているが、現在も部品加工の下請けを続けており、技術力を養っている。従業員にもプロとしての自覚や技術を身につけるように、注意すべき点は厳しく指導している。同時に経営者自身も会社永続のために自己研鑽として、倫理観や人間力を向上させる勉強をし続けることが大切。私自身も還暦を過ぎてから大学院で経済学を学び、経済学博士を目指している。学問と経営の両立は大変だが、会社を守るのが経営者の仕事であるので頑張っている」とお話を頂きました。

『夢工房』の「文化館・開発館」は、同社の歩みと歴代製品から新製品までを展示されていました。

製造工場にあたる「工作館・組立館」では、溶接・プレス加工・製品検査等、従業員の方々が一つ一つ丁寧に作業されている姿と、真剣な眼差しがとても印象的でした。

併設された「昭和の歴史館」では、昭和の生活文化と生活道具等を拝見し、日本のモノづくりの技術の進歩をあらためて感じる事ができました。



経営実践セミナー

人材育成委員会主催 (H25. 5. 21)

経営実践セミナー第7回目は(株)マリン 代表取締役の中昌子様に、『「心の報酬」の与え方』と題してご講演頂きました。

「働く喜び」を軸にした人材育成で来客数・売上高を3倍にされた実績を活かして、コンサルタントとしてご活躍中です。

<講演の要旨>

専業主婦の時にスーパーマーケットでパートとして働きはじめ、お客様に喜んでもらうために工夫を重ねて3年後にはパート店長に抜擢された。

「職場での挨拶ができていないのに、お客様に対しても良い挨拶ができない」と思い、挨拶と笑顔の徹底に取り組んだが、なかなかうまく浸透せず、どうしたら従業員が働くことに喜びを感じられるか、自然と笑顔になるか色々と考えた。

仕事に対する報酬には、「金銭的な報酬」と「心の報酬」の2種類があり、金銭的報酬が十分でも、心の報酬が欠けていると「働きがい」を感じる事ができないということに気付いた。

「心の報酬」には、誰かのために自分が役だっているという「役立感」、自分が成長しているという「成長感」、仲間と一緒に働いていて楽しいという「絆・連帯感」のそれぞれが重要である。

具体例として、常に遅刻するアルバイトに対して、仕事にやりがいを感じられるよう、仕入れた野菜を閉店までに完売させるという新しい仕事にチャレンジさせた。陳列を工夫したり熱心にお客様に声がけをして、閉店前までに見事完売させた。

自分で考えて取り組むことで、役立感・成長感を感じることができて、初めて「働く喜び」を感じたと、喜んで話してくれたことが印象的だった。

従業員の幸せのために、お客様の幸せのために、会社の発展のために、従業員へ「心の報酬」を提供できる企業づくりが不可欠であると思う。



(株)マリン
代表取締役
中 昌子 氏



人事・労務担当者 能力アップセミナー

人材育成委員会主催 (H25. 6. 4)



児玉総合労務研究所
所長 児玉恭教 氏

このセミナーは、法律に即した労務管理のあり方を実践的に学ぶため、テーマ毎に年間10回コースで開催します。

人事労務の基本業務を学びたい方や、新入社員及び人事労務部門への異動になった方はもちろんのこと、現在担当

されている方についても好評

を得ております。

講師は、社会保険労務士で労働基準監督署の指導員などで活躍されている児玉総合労務研究所 所長 児玉恭教 様にお願ひしました。

内容は、「労働・社会保険の仕組み」、「就業規則・社内規定のポイント」などの各テーマについて、企業現場での実務面と共に、法律の遵守すべき点の両方の視点から、事例を上げて詳しくご指導いただいております。

スタートとなる第1回目は、6月から申告が始まる「労働保険の仕組み」について学びました。

はじめに、労働保険（労災保険・雇用保険）に関する自身の理解度チェックを行い、自分自身で不明確な内容等を認識して講義を受けることで、より高い効果を上げられました。

講義では、人事・労務担当者が実際に行わなければならない事務手続きの仕方などを詳しく説明いただきました。普段何気なく機械的に作業をしていた業務について、内容や意味を改めて理解することで、業務全体を見直す良い機会となったと思います。

また、法改正や各種助成金などのリアルタイムな情報も教えていただき、大変参考になりました。

2回目以降も実務的な内容を予定しております。

各回、講義終了後には、簡単な個別相談の場も設けていますので、労務管理にご活用いただけたらと思います。



職場改善研修（活用編）

人材育成委員会主催 (H25. 6. 6)



QCサークル近畿支部
アドバイザー
北野邦弘 氏

品質向上やコスト削減には現場力の向上が不可欠であり、その現場力を高めるために、職場改善活動（小集団活動やサークル活動）は、大変有効且つ重要な手段です。

この改善活動を具体的に進める上で、実践的に役立つQC手法や活用方法について、昨年末の基礎編に引き続いて、「職場改善活動研修会（活用編）」を開催しました。

講師には、毎年開催している改善事例発表会でアドバイザーをお願いしている QCサークル近畿支部 大阪・近畿南地区アドバイザーの北野邦弘 様にお願ひしました。

主な研修内容として、

- ①QC手法のパレート図、特性要因図の確認
- ②要因の分析や解決の手段の検討に役立つ
系統図・マトリックス図の解説と演習
- ③問題解決の手順とQC手法の活用
等、事例を多数上げて解説を頂きました。

特に、観察チェックシートを使って、改善の基となるムリ・ムダ・ムラの取り除き方についてご指導頂きました。

また、「ゴム鉄砲で的を倒す」ことを目的としたユニークなグループ演習も実施しました。実際にゴム鉄砲で的を打った結果のデータを取り、それを元に「的が倒れない」を特性にして特性要因図を作成。要因の解析を行い、また系統図で整理しました。対策をグループで相談し、実際にやってみて効果の確認を行うなど、実際の現場での改善の進め方に則って、分析～検討～対策～確認の改善活動の流れを模擬的に体験しました。

演習の各場面でアイデアの出し方をご指導頂き、和気あいあいとした演習を通して、手法の意味と活用方法や改善の流れを理解頂いたと思います。



会員様のお喜び

春の叙勲 受章おめでとうございます！

平成 25 年度 春の叙勲受章者が発表され、叙勲 旭日双光章 に奈良信用金庫 理事長 加藤正祐 様が受章されました。

会員ともどもお祝いを申し上げます。



旭日双光章 受章

奈良信用金庫

理事長

加 藤 正 祐 氏

就 職 問 題 連 絡 会

人材育成委員会主催 (H25.6.20)



奈良労働局

職業安定部求職者支援室長

木田浩平 氏

基調報告として、奈良労働局職業安定部 求職者支援室長 木田浩平様から、高校新卒者の来春の求職・求人動向についてご解説を頂きました。

この就職問題連絡会は、翌春の高校卒業者の就職に関して、先生方と企業の経営者・人事担当者が一同に会し、よりよい求人求職環境の構築を目指し、意見交換を行っております。

「H25 年 3 月の内定率は 95.0%で、前年度に比べると 0.9 ポイントと若干であるが増加している。月別の内定率は 9 月末までが 44%となっており、年々内定を出す時期が遅くなっている。早期離職率は年々減少してきているものの、全国平均と比べると奈良は依然高い状況にある。特に入社 1 年内の離職者が多い。今年度から、『若者応援企業宣言』として、求人申込書と共に、企業の PR シートを一緒に提出して頂き、企業選びのための情報を提供して頂く制度がスタートした。是非、企業の方々にご協力頂きたい」とご説明頂きました。

次に奈良経済産業協会事務局より、来春の新卒者の採用計画と就職希望者のアンケート調査の結果報告を行うとともに、奈良県高等学校等進路指導研究協議会進路指導委員長 亀山正信先生より、就職に関する高校生の意識調査の結果報告を頂きました。

意見交換では、学校からは「複数の会社で迷っている生徒は、厳しいことを言ってくれた会社を選んでい。うわべの話では生徒は不安感を覚えてしまう。本音で話をして頂きたい」企業からは「会社訪問やインターンシップで会社をよく知ってから、自分が納得した上で来てほしい。」と意見がありました。

今後とも、産官学で連携しながら、より良い求人求職の環境作りへ取組んで参ります。



KAIZEN・改善のすすめ

5S改善の本丸は“整頓”と“見える化”（第3回）

前回は、5Sの基本となる“整理”には、基準・ルールが必要であり、その“基準づくり”で大事な点についてまとめました。

今回は5Sの2番目のSである“整頓”について、整理と同じく整頓する“基準づくり”と“見える化”で大事な点をまとめます。

1. 整頓は改善の本丸

“整頓”の目的は、必要な物が、誰でも、すぐに取り出せる状態にしておくことです。

5Sが定着しない原因は、基準がなかったり、逆に複雑すぎることにあります。また運用方法も煩雑であったり、あやふやであれば継続しません。

そのため、まず“あるべき姿”を描き、それを“見える化”して、全員で共有して、現状との「ギャップ」を埋めていくことが改善です。

あるべき姿に向けて、最初から高望みしてレベルを上げすぎることではなく、マイルストーン（目標）を決めて、1ステップずつ段々にレベルを上げていくことが、成功へのカギとなります。

例えば、材料在庫を減らしたい場合、整理して要らないモノの撤去、空いたスペースを活用してモノの流れを見直し、置き方の工夫等の改善を繰り返して、現状7日分を置いているならば、段々に5日分～3日分と、管理レベルを高めていく継続的な取組が求められます。

5S改善は、1回限りで終わりません。改善に最終はなく、1段1段レベルを上げていく、着実に取り組む心構えが重要です。

2. 基準・ルールを定めて“見える化”

必要なものがすぐに取り出せるようにするために、置き場所・置き方を決めて、分かり易い表示を確実に行うことが重要です。

そのため、「どこに（定位）・なにを（定品）・いくつ（定量）」置くか、その“3定（3つの定）”の基準・ルールをしっかりと定め、全員で共通理解して運用することが重要です。

その基準・ルールに基づき、「探す・考えて」分かるのではなく、「見て・すぐに」分かるように“見える化”することが重要です。

次ぎに、場面毎の事例を上げます。

<3定>

定位（どこに）	モノの置き場所を決める
定品（なにを）	置くモノを決める
定量（いくつ）	置くモノの量を決める

①使えば戻す「治工具」の事例

- ・箱に入れないで（探す時間がかかる）、壁などに吊しておく（棚にならべたり）
- ・治工具の名前やサイズを表示する。
- ・名前札を作り、使用者の名前札を取り出した治工具のあとに吊しておく。（誰が持ち出したかすぐに分かる）
- ・分散管理か集中管理するべきか選別する。（頻度が高いモノは機械側そばに置く等）

②使えば減る「部品・消耗品」の事例

- ・どこに何があるか見て分かるように、部品の所番地を表示し、指定席化する（定位・定品の徹底）
- ・適正な在庫量・発注量（定量）を決めて、いくつ置き、いつ発注するかを管理する（欠品と過剰の防止）
- ・先入れ先出しの徹底するため、置き方や取り出し方等を工夫する（劣化・死蔵品の防止）

③工程のモノの流れ「仕掛品等」の事例

- ・仕掛品置場として、何を（定品）・どこに（定位）、いくつ（定量）置くかを基準化
- ・仕掛品や製品と、工程内で発生する「不良品・手直品」は区分して明示する

3. 3定の“見える化”

この“3定”を誰が見ても分かるように“見える化”することが、次ぎに重要になります。

3定で決めた管理基準と同様に、見える化の基準やルールも定めて、全員で共通理解して運用していくことが重要です。

<見える化の例>

- ・機械や作業工程・作業ごとに表示（名称・内容・担当者等）
- ・材料、仕掛品、製品の置場表示
- ・手直品、不良品の表示と製品等との区別
- ・作業エリアと通路、置場所の区別（内容・名称を示す表示や白線）
- ・所番地を整理し、指定席化して表示
- ・恒常的でない部品台車等の一時置場表示



人 事 ・ 労 務 の 勉 強 部 屋 （第4回）

～高年齢者の活用促進について～

(H25. 7. 10)

平成 25 年 4 月 1 日から高年齢者雇用安定法の一部が改正され、高年齢者の活用が一層促進される中で、それに伴い、高年齢者を積極的に活用するための雇用環境整備の事例（モデルケース）等を紹介しますので、ご参考いただき、高年齢者の活用にお役立て下さい。

<ケース①：高齢者を活用した異業種への新規参入（旅館・ホテル業での事例）>

〔現状・問題点〕	ホテル内で使用するリネン類のクリーニングは、外部業者に発注。
〔取組内容〕	自社倉庫を利用し、新たに自社でクリーニング事業を開始。
〔取組効果〕	ホテル内の高齢従業員の他、グループ企業の定年退職者も受け入れ可能。 高齢従業員向けの職場創出。

<ケース②：高齢者の負担軽減のための機械設備に関する改善（道路貨物運送業での事例）>

〔現状・問題点〕	トラックへの積載作業において、クレーンを使用しない荷物の積み下ろしは高齢従業員の身体的負担が大きく、腰痛を患う危険性あり。
〔取組内容〕	作業負担を軽減させるため、荷物運搬用のフォークリフトを導入。
〔取組効果〕	重量物運搬作業にかかる高齢従業員の身体的負担を軽減し、安全性も向上。

<ケース③：高齢者にやさしい作業環境の整備に関する改善（自動車整備業での事例）>

〔現状・問題点〕	塗装ラインの色見検査において、高齢従業員の視力低下を補うための更なる照度が必要。 40 度を超える高温が発生する作業現場となっている。
〔取組内容〕	塗装ラインの蛍光灯を L E D に変更。移動式照明器具も追加。 スポットクーラー等の設置。
〔取組効果〕	作業環境の整備により、作業効率の向上を図る。

<ケース④：短時間勤務制度導入による高齢者の職場環境整備（金属製品製造業での事例）>

〔現状・問題点〕	定年後はフルタイムを希望しない高齢従業員が多い。 意欲の技能のある高齢従業員は、働き続けてほしい。
〔取組内容〕	専門家と相談して、定年後の再雇用制度の見直しと、新たに短時間勤務制度の運用に伴う導入を図る。
〔取組効果〕	体力や生活ニーズに合わせた勤務が可能となる短時間勤務制度を導入し、いきいきと働ける職場環境を整備。

※高年齢者の活用促進のための雇用環境整備措置について、「高年齢者雇用安定助成金」が新しく設けられました。（平成 25 年 5 月）

主な助成内容：施設改修費、機器購入費、コンサルタント経費、管理システム開発費 等

支給金額：上限 500 万円。（整備に要した費用の 2 分の 1、中小企業は 3 分の 2）

※1 年以上継続して雇用する 60 歳以上の雇用保険被保険者 1 人につき 20 万を上限。

詳細については、厚生労働省のホームページをご参照下さい。

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/kounenrei_katsuyou.html

新入会員様のご紹介

株式会社エム エル エー

【企業概要】

創 業：平成3年5月

資 本 金：2,000 万円

代 表 者：代表取締役

掃 部 彰 一

所 在 地：〒630-8051

奈良市七条町東浦3番地の1

T E L：0742-35-0150

F A X：0742-35-0171

E-mail：mla@yacht.ocn.ne.jp

従 業 員：2名

事業内容：建設業

弊社は、近畿エリアで造成工事から新築工事、建築工事全般を請け負ってきましたが、現在では地域に密着したリフォーム事業を主に工事をさせていただいております。

昨年、奈良県エリアでは年間約50件、東海エリアでは約70件のリフォームをさせていただいております。



有限会社春日野

【企業概要】

創 業：昭和2年3月

資 本 金：300 万円

代 表 者：代表取締役

土 屋 信 一

所 在 地：〒630-8211

奈良市雑司町494番地

T E L：0742-26-3311

F A X：0742-22-1882

E-mail：info@kasugano.com

U R L：http://www.kasugano.com

従 業 員：15名

事業内容：土産物販売 倉庫業

当店は昭和2年奈良公園若草山の麓で創業。主に奈良へお越しになられる観光客や修学旅行生へのお食事の提供とお土産物の販売を行っています。

最近では台湾とアジア地区に力を入れ販路を拡大しています。「お客様第一、真心を込めてお客様に接し喜んでお帰り頂く」をモットーに日々努力しております。



株式会社 四縁 薬師寺門前 AMRIT

【企業概要】

創 業：平成22年3月

資 本 金：1,020 万円

代 表 者：代表取締役

船 津 康 史

所 在 地：〒630-8041

奈良市六条町410

T E L：0742-32-5777

F A X：0742-33-4882

U R L：http://www.amrit-nara.jp

従 業 員：15名

事業内容：イタリアンレストラン・Cafe

伝統工芸 shop・ギャラリー

西ノ京にあります世界遺産薬師寺の中にある薬師寺門前 AMRIT を運営致しております。AMRIT とはサンスクリット語で不老長寿の意。日本の食文化・工芸技術・アートを国内外に発信するプロジェクトを実行しています。「日本の始まりの奈良から世界へ」これが我々 AMRIT スピリッツです。

お誘い合わせの上、是非ご来店ください。スタッフ一同お待ちしております。



株式会社ゼロステーション

【企業概要】

創 業：昭和16年4月

資 本 金：1,000 万円

代 表 者：代表取締役

高 剛 史

所 在 地：〒630-8001

奈良市法蓮寺町83番地5

コスモビル2-A-2

T E L：0742-95-5788

F A X：0742-81-3640

従 業 員：4名

事業内容：ゴルフ用品販売

弊社は、ゴルフ用品販売店を奈良市鶴舞西町にて営んでおります。新品・中古ゴルフクラブをはじめウェア、シューズ、アクセサリ等、全般的に扱っております。ゴルフ工房をおきクラブのチューンナップも行っております。また、インターネットによる通信販売も行っております。

ゴルファーの皆様が楽しく集まれるスペースを目指しています。



新入会員様のご紹介

登大路プラッツ

【企業概要】

創 業：文化元年

代 表 者：畑 野 秀 夫

所 在 地：〒 630-8213

奈良市登大路町

11 番地の 1

T E L：0742-24-2758

F A X：0742-24-2758

従 業 員：1 名

事業内容：不動産賃貸・管理業

文化元年より油留木町にて、油製造・郷宿業「かせ治事」として創業。休業期を挟み、駐車場経営期を経て現在に至ります。

現在は、テナント・マンション・駐車場経営を主に営んでおり、奈良が住みよい街、行ってみたい場所になるよう本職傍ら地域活動にも積極的に参加しております。



h a c o

【企業概要】

創 業：平成 19 年 10 月

代 表 者：オーナー

森 俊 之

所 在 地：〒 630-8227

奈良市林小路町 23

いそかわビル 2 F

T E L：0742-24-8508

F A X：0742-24-8508

E-mail：haco@kcn.jp

U R L：http://www.bar-haco.com/

従 業 員：5 名

事業内容：飲食店・美容業

私どもは地域に密着した飲食店 3 店舗・美容室 1 店舗を運営しております。

様々なサービス業を通して、お客様・スタッフと共にオンリーワンの店舗作りを目指しております。

地域におけるイベントなどのボランティアにも積極的に参加させていただいております。



ふとんの中島（中島寝具株式会社）

【企業概要】

創 業：昭和 32 年 4 月

資 本 金：1,000 万円

代 表 者：代表取締役

中 島 祥 匡

所 在 地：〒 634-0004

橿原市木原町 236-1

T E L：0744-26-2800

F A X：0744-26-2801

E-mail：futonya@silk.plala.or.jp

U R L：http://www.futon-nakajima.com

従 業 員：9 名

事業内容：寝具製造・卸・販売

『ふとん屋』から『眠り屋』へと変革を図り、お客様の眠りに対するお悩み相談を承っております。

『快適な眠りを通して「こころ」に安らぎを！』を基本理念とし、お客様お一人おひとりに合った寝具のご提案をすることで、ひとりでも多くの方に『ぐっすり気持ちよくお休みいただきたい』そんな想いで取り組んでいます。



【企業概要】

創 業：平成 9 年 7 月

代 表 者：社会保険労務士

奥 村 裕 文

所 在 地：〒 630-8302

奈良市白毫寺町 835-1

大和紀寺ビル 1 号館 201

T E L：0742-25-2511

F A X：0742-25-2512

E-mail：info@pradipa.net

従 業 員：5 名

事業内容：社会保険労務士業、給与計算代行業、人事労務コンサルティング業

当事務所は、社会保険労務士として社会・労働保険の手続きの代行、給与計算の代行のアウトソーシング業務と企業の「ひと」に関する人事労務コンサルティング業務の 2 本柱で運営しております。

最近、増加傾向にある労使間トラブルを防止するための就業規則の策定、雇用契約書等の整備のお手伝いに、特に力を入れております。



森をつなぐ、未来へつなぐ。

1300年という悠久の歴史に守られてきた古都・奈良。

私たちは、その素晴らしい文化や

風土を守り継ぐため、

吉野の森をはじめとする環境保全に取り組んでいます。

緑に包まれた豊かな自然を

お客さま一人ひとりの豊かなくらしを

しっかり未来へつないでいきたい。

南都銀行は、地域とともに、あなたとともに、

豊かな未来を拓いていきます。

ナント・なら・ずっと！
NANTO 南都銀行

南都銀行本店／奈良市橋本町16 <http://www.nantobank.co.jp/>



南都銀行は「Yoshino Heart プロジェクト」を応援しています。

吉野産の杉やヒノキなどから生まれた木製品の普及を通じて、
林業関連産業の活性化や地球環境保全をめざしています。



損害保険・生命保険代理店(南都銀行 友好法人)

南都商事株式会社

《 本 社 》

〒630-8115
奈良市大宮町 6-2-1
TEL: 0742-34-7830
FAX: 0742-34-7632

《 橿原支社 》

〒634-0078
橿原市八木町 1-1-1
TEL: 0744-29-5726
FAX: 0744-29-5708

《 橋本営業所 》

〒648-0072
橋本市東家 1-1-30
TEL: 0736-33-5246
FAX: 0736-33-5253

《 大阪支社 》

〒542-0076
大阪市中央区難波 4-7-2
TEL: 06-4395-5860
FAX: 06-6631-2721

MOVE CUSTOM トップクラスの低燃費 **JC08モード** 走行燃費※ (2WD車) **29.0km/ℓ***

★フロントシートリフトおよびカスタムRSI除く2WD全車。

スマートアシスト
衝突回避支援システム

eco IDLE



Photo:ムーヴカスタムX"SA"

※:燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。

もっと軽にできること。

DAIHATSU

奈良ダイハツ株式会社

愛車の点検整備は、しっかりと!

奈良店	奈良市南京終町2-275	TEL (0742) 62-0771
登美ヶ丘店	奈良市中登美ヶ丘3-13-1	TEL (0742) 44-1150
三条大路店	奈良市三条大路4-2-12	TEL (0742) 94-7890
橿原店	橿原市曾我町35	TEL (0744) 23-1381
香芝店	香芝市高150-3	TEL (0745) 76-7211
生駒店	生駒市東松ヶ丘17-17	TEL (0743) 74-2176
郡山店	大和郡山市筒井町531-7	TEL (0743) 84-7700
U-CAR大森	奈良市大森町38	TEL (0742) 23-8717

fAntastic[®]
Reality

AR拡張現実×共同精版印刷株式会社



1 Download
アプリをダウンロード



2 QRcode
QRコードにかざす



3 Enjoy
情報を楽しむ

いま見ている世界で
ココロをつかめるか

KYODO SEIHAN PRINTING
KSP

共同精版印刷株式会社
<http://www.kspkk.co.jp/>



人と企業のコミュニケーションを
デザインする。



ホーム ページ
会社のH.Pを検索結果上位に!



DS 大光宣伝SEO解析ツール
DAIKO SENDEN SEO SYSTEM Ver.1.0

全国導入1,000件以上! 難しい設定なし! お客様自身で検索結果上位が狙えます!

業者いらずの
SEO対策!

6ヶ月で
500出稿!

強力な
SEO効果!

設定後は
自動解析!

月額 **9,800円** (税別)
※ご契約は6ヶ月からの契約となります。



大光宣伝株式会社



0120-540-888

広告 奈良

検索

役 職 変 更

☆共同精版印刷株式会社
 (旧) 近東 宏光 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 近東 宏光 (代表取締役会長)

☆株式会社呉竹
 (旧) 西谷 一郎 (常務取締役生産統括本部長)
 ↓
 (新) 西谷 一郎 (常務取締役)

☆東洋精密工業株式会社
 (旧) 石井 昌 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 石井 昌 (代表取締役会長)

☆株式会社ヒラノテクシード
 (旧) 三浦 日出男 (取締役社長)
 ↓
 (新) 三浦 日出男 (取締役会長)

☆株式会社森田スプリング製作所
 (旧) 森田 壽志 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 森田 壽志 (代表取締役会長)

役 職 変 更

☆ユニバーサルコンピューター株式会社
 (旧) 島本 秀雄 (常務取締役)
 ↓
 (新) 島本 秀雄 (専務取締役)

社 名 変 更

☆シャープ株式会社
 ↓
 シャープ株式会社 プロダクトビジネスグループ
 BtoB 担当 兼 ビジネスソリューション事業統轄

すべては、お客様のために。

野村は、世界の金融商品の豊富なラインナップ、
 充実したグローバルな投資情報、そして
 ご信頼いただけるきめ細かなサービスを提供することで、
 より一層お客さまのお役に立てるよう努めています。



野村證券株式会社 奈良支店

〒630-8227 奈良市林小路町45番地
 電話 0742(22)0351(代表)

パンドスタジオとは
 クロマキー技術を利用し、
 人物とパソコンの画面を合
 成することで、企業の会社紹
 介、商品紹介の動画撮影、e-
 ラーニングコンテンツ制作
 に対応したスタジオです。



PANDA STUDIO 奈良



<http://meishin.co.jp/panda>

株式会社 明新社 パンドスタジオ事務局

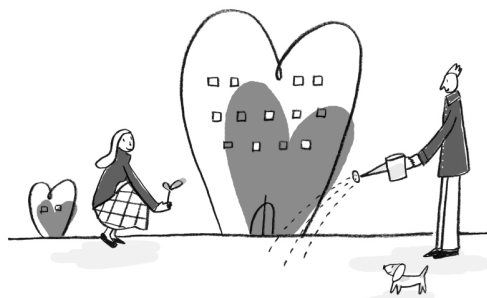
〒630-8141 奈良市南京終町3丁目464番地 株式会社 明新社3階

お問い合わせ 0742-63-0661 pandastudio_nara@meishin.co.jp

人、まち、環境、 創って育てる村本です。

村本建設株式会社 代表取締役社長 村本 吉弘

本 社 / 〒543-0002 大阪市天王寺区上汐4丁目5-26 TEL. 06-6772-8201
 奈 良 本 店 / 〒635-0822 奈良県北葛城郡広陵町大字平尾11-1 TEL. 0745-55-1151
 奈 良 営業所 / 〒630-8353 奈良市柳町31-1 TEL. 0742-27-8011
<http://www.muramoto.co.jp/>



事務局だより

代表者変更

☆関西電力株式会社 奈良支店
 (旧) 竹田 芳弘 (執行役員支店長)
 ↓
 (新) 小槻 百典 (執行役員支店長)

☆橿原電機株式会社
 (旧) 竹中 泰介 (代表取締役)
 ↓
 (新) 竹中 邦夫 (代表取締役)

☆小山株式会社
 (旧) 小山 新造 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 吉村 昭秀 (取締役人事部長)

☆三和住宅株式会社
 (旧) 小林 茂樹 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 小林 正樹 (代表取締役社長)

☆GMB株式会社
 (旧) 森 勝 (取締役副社長)
 ↓
 (新) 金本 現一 (専務取締役)

☆株式会社タカトリ
 (旧) 高鳥 王昌 (代表取締役会長)
 ↓
 (新) 北村 吉郎 (代表取締役社長)

☆田村薬品工業株式会社
 (旧) 田村 恵昭 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 西本 秋宏 (常務取締役)

☆東邦化成株式会社
 (旧) 土井 聡 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 三杉 嘉彦 (代表取締役社長)

☆東洋アルミニウム株式会社 新庄製造所
 (旧) 楠井 潤 (取締役常務執行役員
 兼 新庄製造所長)
 ↓
 (新) 徳田 精徳 (新庄製造所長)

☆ニッタ株式会社 奈良工場
 (旧) 山本 寛二 (取締役常務執行役員
 奈良工場長)
 ↓
 (新) 浜里 恵一 (取締役執行役員
 奈良工場長)

☆奈良県民共済生活協同組合
 (旧) 林田 勝憲 (理事長)
 ↓
 (新) 村田 昭 (理事長)

☆奈良交通株式会社
 (旧) 中村 憲児 (代表取締役会長)
 ↓
 (新) 谷口 宗男 (代表取締役社長)

☆奈良信用金庫
 (旧) 加藤 正祐 (理事長)
 ↓
 (新) 大歳 清次 (理事長)

☆奈良ビジネスサービス株式会社
 (旧) 富森 昇 (代表取締役)
 ↓
 (新) 高木 邦夫 (代表取締役)

☆一般財団法人南都経済研究所
 (旧) 鮎井 憲 (理事長)
 ↓
 (新) 田村 健吉 (理事長)

☆南都地所株式会社
 (旧) 阪本 安正 (代表取締役)
 ↓
 (新) 大島 章良 (代表取締役)

☆株式会社汎建製作所
 (旧) 川村 尚 (代表取締役)
 ↓
 (新) 松田 伸生 (代表取締役)

☆平井不動産株式会社
 (旧) 平井 信成 (会長)
 ↓
 (新) 水野 憲治 (代表取締役)

☆水野ストレーナー工業株式会社
 (旧) 水野 芳子 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 水野 宣明 (代表取締役社長)

☆三井住友海上火災保険株式会社 奈良支社
 (旧) 岩端 良雄 (奈良支社長)
 ↓
 (新) 佐々木 達也 (奈良支社長)

☆リコージャパン株式会社 関西営業本部
 大阪支社 奈良営業部
 (旧) 米山 吉行 (奈良営業部 部長)
 ↓
 (新) 迫田 智裕 (奈良営業部 部長)

☆株式会社吉野芦原碎石
 (旧) 森川 保治 (代表取締役社長)
 ↓
 (新) 森川 治郎 (代表取締役社長)

奈良経済産業協会NEWS 第5号

平成25年7月発行
 社団法人 奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内
 TEL(0742)36-7370 FAX(0742)36-7371
<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail : info@nara-eia.or.jp